

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年6月6日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年6月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<b>【構内貸出用カメラ機器調査の委託契約未実施について】</b> 当社社員が構内で使用するためのカメラを修理発注する際、修理を委託する前に必要な、故障箇所などの機器調査を委託契約を結ばずに実施した。 本来は、事前の機器調査と修理、それぞれに委託契約を結び実施するルールであった。 原因は、事前の機器調査において、委託契約は必要ないと思い込んでいたもの。 改めて機器調査委託契約を結び、手続きを実施。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。	G II	5月24日
2	<b>【5号機廃棄物処理系床ドレン収集ポンプ吐出弁のシート漏えいについて】</b> 当直員が、5号機廃棄物処理系床ドレン収集タンクから6号機廃棄物処理系床ドレン中和タンク(A)への移送終了後、5号機床ドレン収集タンクの水位低下を確認。 速やかに6号機廃棄物処理系中和タンク(A)の5号機床ドレン収集タンクへの連絡弁を全閉にし、床ドレン収集タンクの水位低下の停止を確認。 原因は、床ドレン収集ポンプ吐出弁のシート漏えいと判明。 今後、当該弁の分解点検を実施予定。	G III	6月1日
3	<b>【大型休憩所6階空調設備の冷媒漏えいについて】</b> 協力企業作業員が、3月16日に発生した地震後の修理工事における詳細点検において、大型休憩所6階空調設備の冷媒が漏えいしていることを確認。 また、冷媒は既に全量漏えいしていることを確認。 なお、冷媒漏えいについて相双地方振興局へ連絡済。 今後、漏えい箇所を特定して修理・冷媒再充填を実施予定。	G III	5月31日